



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.1504 2026 年 7 月 6 日

ARIB の動き

ITS 情報通信システム推進会議 2026 年度総会を開催

ARIB が事務局を務める ITS 情報通信システム推進会議(以下、ITSF)の 2026 年度総会が 6 月 24 日(水)に明治記念館で開催されました。総務省を始め ITS 関連省庁・団体、一般・特別会員から約 80 名が参加し、ITSF 会長の山本圭司氏(トヨタ自動車株式会社 デジタル情報通信本部 本部長)の挨拶ならびに総務省総合通信基盤局電波部長の翁長久氏の来賓ご挨拶に続き、「2025 年度の事業報告および収支決算」、「2026 年度の事業計画および収支予算」、「2026 年度役員の選任」、「2026 年度運営委員の選任」の審議が行われ、議案どおり議決されました。

山本会長の開会挨拶では、豊かな交通社会・モビリティ社会を支える ITS インフラの実現には通信、計算、AI の 3 つの基盤が重要であり、それらの関係者やそれらを活用する自動運転技術の開発者など多様な業界間が連携し、「モビリティ社会の将来像」や「日本の社会に適したインフラ協調の基盤」という目標を共有することが非常に大切であり、ITSF としても関係省庁・団体と連携しながら貢献していきたいとの意気込みと共に、関係者のより一層のご支援ご協力をお願いしたいとの思いが語られました。

来賓ご挨拶では、翁長部長より、電波行政に対する協力への御礼、この一年間における ITS に関わる大きな動き(新東名高速道での実証実験や 700 MHz 帯免許制度の改正、5.9 GHz 帯 V2X に向けた制度整備、自動運転時代の“次世代の ITS 通信”研究会報告書による課題整理と提言を踏まえ重要テーマに対応する WG の設置、政府戦略における自動運転の社会実装に対する取組など)をご紹介いただくと共に、ITS が大きな転換期を迎えていることから ITS・自動運転の推進に向けて協力をお願いしたいとの言葉をいただきました。



ITSF 山本氏



総務省 翁長氏

2025 年度の事業報告では、定期的に専門委員会・WG 等を開催し、安全・安心や利便性向上に資する ITS 無線システムの実用化、普及促進に向けた活動および自動運転で必要とされる無線通信方式などの検討を推進したことが報告されました。

その詳細として、5.9 GHz 帯 V2X や 700 MHz 帯 ITS を利用した自動運转向け実証実験用ガイドラインの策定・改定、VRU 保護に“通信が有効と考えられる交通シーン”の抽出と通信シナリオ・要件の検討、複数の通信メディアやアプリケーションが共存できる通信アーキテクチャの検討、新たな社会課題や情報サービスに関する課題募集と検討会の開催、近接周波数帯サービスとの共用検討への対応のほか、ITU-R での次世代 ITS に関する報告作成や AWG でのミリ波レーダーや路車協調システムに関する報告作成に向けた寄与文書提案などの国際標準化活動、5GAA や CAR 2 CAR Communication Consortium (C2C-CC) といった海外関連団体との連携などの国際協調活動、ITS 世界会議アトランタでのパネル展示・総務省セッション支援、例年開催している Mobility & Safety Communications (MSC) セミナーやメールニュース（ほっとびっく）による活動発信などの普及促進活動が報告されました。

2026 年度の事業計画として、モビリティ社会実現に向けて、自動運転や V2X 通信に関わる様々なステークホルダーによる横断的な連携・議論の推進や V2X 通信の技術完成度の向上と標準規格などの策定・改定、自動運転や ITS 無線に関する国際標準化の推進、海外の ITS 専門家・団体との連携強化などが説明されました。

2026 年度の役員については、山本会長の再任に加え、副会長に株式会社東芝上席常務執行役員 佐田豊氏、会計監査に日本放送協会技術局長 有賀寿氏が選任されました。



総会風景

総会後には講演会を開催し、「令和 7 年度総務省事業における 5.9 GHz 帯 V2X 実証実験の実施結果について」と題して日本電気株式会社 竹川雅之氏および沖電気工業株式会社 中林昭一氏より、「モビリティ分野の社会課題と新たな価値創造に関する検討会について」と題してパナソニックシステムネットワークス開発研究所 福田博之氏より、ご講演をいただきました。



日本電気
竹川氏



沖電気工業
中林氏



パナソニックシステム
ネットワークス開発研究所
福田氏

総会および講演会終了後は懇親会を開催し、総務省総合通信基盤局長の湯本博信氏もご参加され、来賓ご挨拶をいただきました。山本会長を中心に関係省庁・団体を含む ITS 関係者と ITSF 会員が交流を深める場となりました。

電波環境協議会 2026 年度総会を開催

6 月 30 日（火）、ARIB が事務局を務める電波環境協議会(略称：EMCC)の 2026 年度総会が、学識経験者、関係省庁、独立行政法人、企業団体等から 34 名の出席のもとアルカディア市ヶ谷（私学会館）で開催されました。

当協議会の藤野義之会長（東洋大学教授）の挨拶では、本協議会が長年にわたり続けてきた歴史と意義について言及があったほか、最近の話題として、空間伝送型電力伝送における屋外利用の推進と日本メーカーによる製品化の動向などが紹介され、今後も無線分野のさらなる発展が期待される中で、引き続き電波環境の整備を重要視しつつ協議会活動を積極的に推進していく意向と、本総会における有意義な議論への期待が述べられました。

その後、藤野会長が議長を務め、「2025 年度の事業報告、収支決算報告」、「2026 年度の事業計画、収支予算」、「2026 年度役員の選任、各委員会の委員長・副委員長の選任」の審議が行われ、議案通り議決されました。

総会の議題審議に続いて行われた電波環境協議会表彰では、高杉友洋氏（いすゞ自動車株式会社）、平野知氏（元 一般社団法人電子情報技術産業協会・元 フクダ電子）、松本泰氏（国立研究開発法人情報通信研究機構）の 3 名の表彰を行いました。



電波環境協議会総会の様子

ARIB 内会合(7月6日～7月10日)予定

7月8日(水) : 第341回業務委員会 Web会議併用
7月9日(木) : 周波数資源開発シンポジウム 2026 明治記念館
7月10日(金) : スタジオ設備開発部会 スタジオ映像作業班 Web会議併用

国際会合(7月6日～7月10日)予定

参加を予定している会合はありません。

総務省などからのお知らせ

革新的情報通信技術(Beyond 5G(6G))基金事業 令和8年度要素技術・シーズ創出型プログラムの公募(第2回) 【令和8年6月26日発表】

総務省が国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)に造成した情報通信研究開発基金を活用して実施する革新的情報通信技術(Beyond 5G(6G))基金事業において、NICTは要素技術・シーズ創出型プログラムで実施する令和8年度研究開発プロジェクトについて、令和8年6月26日(金)から同年7月27日(月)正午までの間、公募を実施しています。

詳細については[【令和8年6月26日の総務省報道資料】](#)をご覧ください。

MWC バルセロナ 2027 Japan Pavilion への出展者募集 【令和8年6月29日発表】

総務省は、世界最大級のモバイル関連技術の展示会である MWC バルセロナ 2027 に設置する、JAPAN Pavilion への出展者について、令和8年8月28日(金)までの間、募集を実施しています。

詳細については[【令和8年6月29日の総務省報道資料】](#)をご覧ください。

令和8年度から新たに実施する電波資源拡大のための研究開発の 提案の公募(再公募) 【令和8年6月30日発表】

総務省は、令和8年度から新たに実施する電波資源拡大のための研究開発について、令和8年7月1日(水)から同年7月30日(木)までの間、提案を再公募しています。

詳細については[【令和8年6月30日の総務省報道資料】](#)をご覧ください。



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<https://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp